

| 科目番号 | 教室 | 登録人数 | 履修登録方法 |
|----------------------|------------|------|------------------|
| 学共222 | [月3]文講114 | 100 | 抽選対象 |
| 開講年度 | 期間 | 曜日時限 | 開講学部等 |
| 2025 | 後学期 | 月3 | 国際地域創造学部国際地域創造学科 |
| 講義コード | 科目名[英文名] | 単位数 | |
| g00628002 | データサイエンス概論 | 2 | |
| 担当教員[ローマ字表記] | | | |
| 山田 健太 [Kenta Yamada] | | | |

授業の形態

講義

アクティブラーニング

学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

商品の売り上げ、インターネット上の書き込み、サッカーの試合中の人やボール動きや生体情報など身の回りの様々なものやサービスが電子化され、コンピュータには日々膨大なデータが蓄積される時代になりました。これらのデータを分析することにより、様々な仮説検証が行えるようになり新たな学術的な発見やサービス開発が行われ始めています。

本講義では、スポーツ、社会経済、生物・生態、製品の製造過程、在庫管理など様々な分野における最先端のデータサイエンスに関する研究を講師の先生に紹介してもらい、背景（ドメイン）知識、データの取得から下処理・分析・モデリングの方法、そして実社会への応用などを学ぶことによってデータサイエンスの知識を深めます。

URGCC学習教育目標

情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

様々な分野における最先端のデータサイエンスに関する研究を聞きデータサイエンスの概要や手法を理解する。また、毎回の小レポートを作成することによって、講演を聞いてその要点をまとめる力や質問する力を身につける。[情報リテラシー、問題解決力、専門性]

評価基準と評価方法

毎回授業内で作成する小レポート 100%

履修条件

授業計画

各回の進行、レポートの採点などは山田が行う

- 1.10/6 [対面] ガイダンス：授業の進め方。データサイエンスとは何か？なぜデータサイエンスを学ぶのか？
- 2.10/15 [オンライン] データサイエンス×企業ネットワーク 講師：高安秀樹先生(東京科学大学)
- 3.10/20 [対面] データサイエンス×デジタルマーケティング 講師：内藤剛先生(LINEヤフー)
- 4.10/27 [オンデマンド(指定)] データサイエンス×半導体工場 講師：高安秀樹先生(東京科学大学)
- 5.11/6 [オンライン] データサイエンス×コウモリ 講師：飛龍志津子先生(同志社大学)
- 6.11/10 [対面] データサイエンス×Wikipedia 講師：小串典子先生(明治学院大学)
- 7.11/17 [オンデマンド(指定)] データサイエンス×まばたき 講師：中野珠実先生(大阪大学)
- 8.12/1 [オンライン] データサイエンス×マーケティングリサーチ 講師：木村友朗先生(株式会社ロイヤリティマーケティング)
- 9.12/8 [対面] データサイエンス×ビジネスデザイン 講師：野村先生(J. フロント リテイリング株式会社), 泉晃先生(株式会社リュウエル)
- 10.12/15 [対面] データサイエンス×触覚 講師：田中由浩先生(名古屋工業大学)
- 11.12/22 [オンライン] データサイエンス×在庫管理・自動発注 講師：江崎貴裕先生(東京大学)
- 12.1/5 [オンデマンド(指定)] データサイエンス×認知 講師：松宮一道先生(東北大学)

13.1/13 [オンデマンド(選択)] 下記オンデマンド教材から一つを選ぶ

14.1/19 [オンデマンド(指定)] データサイエンス×テキストデータ 講師：榊剛史先生(株式会社ホットリンク)

15.1/26 [対面] データサイエンス×ソーシャルメディア, まとめ 講師：山田健太(琉球大学)

[オンデマンド教材]

- ・データサイエンス×沖縄交通 講師：神谷 大介先生(琉球大学)
- ・データサイエンス×沖縄言葉 講師：岡崎威生先生(琉球大学)
- ・データサイエンス×沖縄経済 講師：瀬口浩一先生(琉球大学)
- ・データサイエンス×台風 講師：宮田龍太先生(琉球大学)
- ・データサイエンス×ヒトゲノム多様性 講師：木村亮介先生(琉球大学)
- ・データサイエンス×野生動物調査 講師：松本晶子先生(琉球大学)
- ・データサイエンス×実験心理学 講師：岡崎聡先生(琉球大学)
- ・データサイエンス×病理診断 講師：上原和樹先生(琉球大学)

■ ■ 事前学習

データサイエンス×〇〇の〇〇の部分について事前に調べる。またデータを用いてどのようなアプローチが可能かについて考える。

■ ■ 事後学習

授業の講演内容に関して書籍やインターネットで調べ知識を掘り下げる。また、どのようなデータがあればさらに研究が進展するかについて考察する。

■ ■ 教科書にかかわる情報

■ ■ 教科書全体備考

■ ■ 参考書にかかわる情報

■ ■ 参考書全体備考

受講人数が上限に達している場合は追加履修は許可しません。

■ ■ 使用言語

日本語

■ ■ メッセージ

■ ■ オフィスアワー

火曜10:30～11:30 文系研究棟 521

事前に下記メールアドレスへ連絡しアポイントメントをとるようにしてください

■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

データサイエンティスト養成履修カリキュラム:https://www.grs.u-ryukyu.ac.jp/ds_literacy/#%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%90%91%E3%81%91%E3%82%AB%E3%83%AA%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A9%E3%83%A0